

## 東北農政局長表彰を受賞しました。

当社は、令和8年2月5日に令和7年度東北農政局所管農業農村整備事業等優良工事等の表彰において、東北農政局長表彰を受賞しました。

業 務 名：令和6年度 国営土地改良事業地区調査  
能代二期地区米代川水管橋等耐震補強対策検討その他調査業務  
(東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所発注)

業 務 概 要：能代二期地区の整備計画策定のため、素波里頭首工及び米代川水管橋の耐震性能照査を行うとともに、過年度業務及び本業務の耐震性能照査結果を踏まえて、米代川水管橋及び小友調圧水槽の耐震補強対策の検討を行うことを目的としています。また、第2号導水路及び素波里頭首工の施設状況調査を行い、第2号導水路においては、二期事業に向けた構想設計を行います。調査作業は、PC管試掘調査(第2号導水路)、ボーリング調査、河床部空洞調査(素波里頭首工)であり、設計作業は、素波里頭首工、米代川水管橋、小友調圧水槽の耐震性能照査・耐震補強の検討(施工計画、工事費算定含む)及び第2号導水路の構想設計(工法：鞘管工法)です。

表 彰 理 由：以下の点において、優良業務として評価されました。

【既設PC管路の埋設環境の可視化と様々な視点と手法を統合した健全性評価を実施し業務を推進】

・本業務は、第2号導水路のPC管路(L≒7km)の健全性の評価にあたり、航空写真に投影した路線線形、管種・管径、製造メーカー、管上の土地利用状況、地質・土壌・水質等を整理したデータベースを作成することにより、対外的な説明に向けた埋設管環境の可視化を行い、分かりやすい資料を作成した。

・データベースを基礎資料とし、試掘調査や土壌・水質分析に加え、非定常水理解析による耐荷性を評価し、これまでの調査結果(管内調査、漏水量調査)、関連業務による液状化判定結果及び昭和58年(1983年)に能代沖で発生した日本海中部地震の被災復旧記録等の既存資料等、様々な関連資料を有効活用し、多角的な観点から当該水路の健全性を評価した。本手法は、近年漏水事故が増加傾向にあるPC管路の評価手法として他地区においても活用が期待されるものである。

管理技術者：仙台支店技術部 小杉英斤

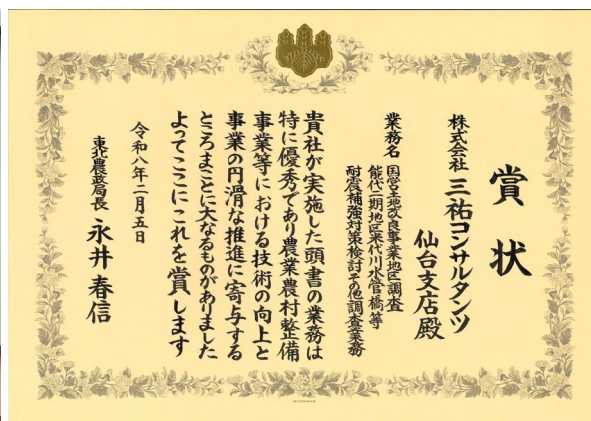
照査技術者：仙台支店技術部 佐伯徳一

担当技術者：仙台支店技術部 浅野純平、井ノ上修一、煤賀近、谷中文哉、門永千咲

履 行 期 間：令和6年5月2日～令和7年3月14日



授与式後の記念撮影



表彰状